



立壁城



岬先端を見張台として利用する

所在地：石川県鳳珠郡能登町立壁

立 地：丘陵先端、標高14m

城 主：久乃利（九ノ里）氏

時 期：戦国

見学時間（参考）：約20分

立壁・四方山台地の北に突き出た岬先端部の通称城ヶ崎に占地する。三方を断崖絶壁と日本海に囲まれた天然の要害である。

珠洲郡誌に「立壁なる今の城ヶ崎に在りきと伝へ、年代城主等得て知るべからず。或は曰く上杉謙信の兵之を陥ると。城外塹壕の跡と称する所あれど、今埋没し



現在の登城道



南方の立壁・四方山台地とは堀切で遮断される

て遺状殆ど見る事能はず」と記している。上杉謙信は天正4年（1576）・5年に奥能登へ進攻している。

天文年間（1532～54）に比定される「能登内浦村々給人注文写」に、久乃利（九ノ里）浦・立壁・半尻を治める領主として「久乃利（九ノ里）殿」が登場し、久乃利氏が立壁を含む久乃利浦一帯を支配する領主であったと推定される。

城は台地と深い堀切で分断され独立丘のようになった頂部に主郭と一段低い曲輪で構成され、北側の海際から登る大手と推定される道が残り、一段低い曲輪に至る。小規模な曲輪には多数の城兵は駐屯できないため、海上を航行する船を監視する見張台として使用されたと推定される。曲輪にはかつて灯台が設定され、近代においても海路の

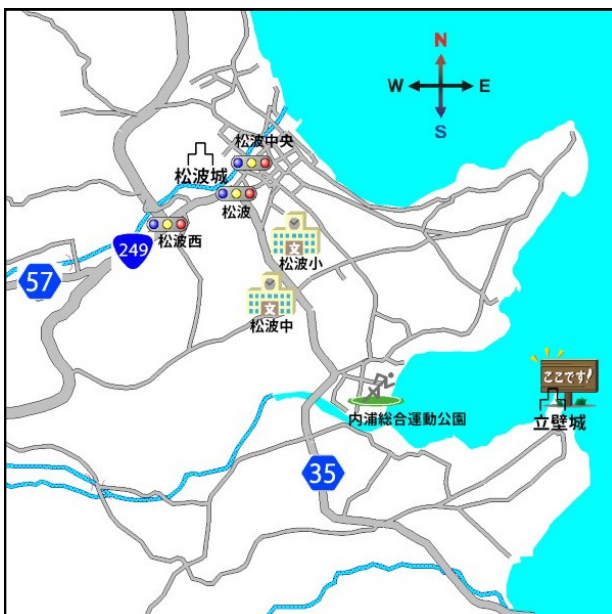
要所であった。



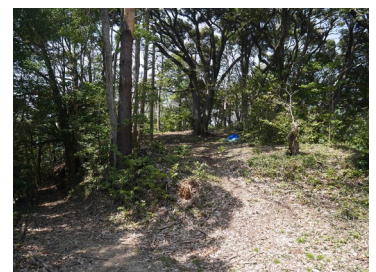
北方の飯田湾を望む



主郭



北側の大手と推定される道



主郭入口と登城道（左）

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>